

# 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価結果

朝日町教育委員会では主要な施策や事務事業の取り組みについて点検及び評価を行い、課題や方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、行政の透明性を高め、住民への説明責任の向上を図ることを目的とし「平成23年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」を作成しました。評価については、平成22年度事業について実施し、その結果を次のとおり公表します。

事務事業評価集計表（一般事業用）

所 属 名	対 象 事 業 数	第 1 次 評 価												総 合 評 価					教 育 委 員 会 で 評 価 が 変 更 と な っ た 事 業 数						
		妥 当 性				有 効 性				効 率 性				自 己 評 価						教 育 委 員 会					
		4 適 切 ・ 十 分	3 概 ね 適 切 ・ 十 分	2 改 善 の 余 地 が あ る	1 不 適 切 ・ 不 十 分	4 適 切 ・ 十 分	3 概 ね 適 切 ・ 十 分	2 改 善 の 余 地 が あ る	1 不 適 切 ・ 不 十 分	4 適 切 ・ 十 分	3 概 ね 適 切 ・ 十 分	2 改 善 の 余 地 が あ る	1 不 適 切 ・ 不 十 分	見 直 必 要 な し	見 直 必 要 な し	見 直 必 要 な し	見 直 必 要 な し	見 直 必 要 な し		見 直 必 要 な し	見 直 必 要 な し	見 直 必 要 な し			
教 育 総 務（一般事業）	33	33			29	1	3		31	1	1		28	4	1		28	4	1						
幼 稚 園（一般事業）	15	15			15				15				15				15								
小 学 校（一般事業）	4	4			4				4				4				4								
中 学 校（一般事業）	3	3			3				3				3				3								
生 涯 学 習（一般事業）	46	46			44	1	1		44	1	1		43			3	43							3	
文 化 振 興（一般事業）	37	37			37				37				34		1	2	34			1	2				
合 計	138	138	0	0	132	2	4	0	134	2	2	0	127	4	0	2	5	127	4	0	2	5			0

事務事業評価集計表（補助金等事業用）

所 属 名	対 象 事 業 数	第 1 次 評 価								総 合 評 価					教 育 委 員 会 で 評 価 が 変 更 と な っ た 事 業 数										
		妥 当 性		有 効 性		効 率 性				自 己 評 価						教 育 委 員 会									
		事 業 の 必 要 度	対 象 設 定 の 妥 当 性	事 業 主 体 の 代 替 度	成 果 の 達 成 度	事 業 の 見 直 し 度	行 政 コ ス ト 削 減 度	効 率 性 の 向 上 度	受 益 と 負 担 と の 相 関 度	見 直 必 要 な し	見 直 必 要 な し	見 直 必 要 な し	見 直 必 要 な し	見 直 必 要 な し		見 直 必 要 な し	見 直 必 要 な し	見 直 必 要 な し	見 直 必 要 な し	見 直 必 要 な し					
教 育 総 務（補助金等事業）	5									4	1			1											
幼 稚 園（補助金等事業）	0																								
小 学 校（補助金等事業）	5									5															
中 学 校（補助金等事業）	5									5															
生 涯 学 習（補助金等事業）	5									5															
文 化 振 興（補助金等事業）	0																								
合 計	20	0	0	0	0	0	0	0	0	19	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 今後の取り組み

今後の方向性について、約92.3%の事務事業を「継続」と評価しました。教育関係の事業においては、5年後・10年後に成果が出てくるものもあり、長期的な視点のもと更なる多くの成果が得られるよう事務事業の目的、必要性等を踏まえ新たな発想による効果的な手法がないか常に問題意識を持って事務事業の遂行に努めます。また、特に次の点について改善充実等に努めます。

- ① 学校施設の整備等において、厳しい財政状況の中、児童生徒の安全性の確保を第一に考え、積極的な対応と計画的な整備に努めます。
- ② 小中学校では、児童生徒の情操教育向上のため演劇鑑賞を実施しており、『本物を見る』『本物を体験する』事は、心を育む学習に教育効果は大きいと思います。  
児童生徒の豊かな感受性を育てるためにも『本物を見る』『本物を体験する』事は一生の宝物にもなります。今後も心の琴線に触れるような本物体験ができるよう更なる充実等に努めます。  
また、グリーンスクール（自然教室）・職場体験・校外活動等においては、集団活動を通じて規律や社会性を見つける良い機会であり、この体験は目に見えない効果があるため今後も継続するように努めます。
- ③ 学力検査事業は、教師の指導方法や授業改善等につながり児童生徒の学力向上に大変重要であり、今後も継続してより良い授業を実施するように努めます。
- ④ 学校図書については、想像力や考える力を養い、豊かな知識を身につける場であるため計画的な図書の充実等に努めます。
- ⑤ 学校と保護者、教育委員会が連携して子ども達が健全に成長していくように努めます。また、新しい朝日町としての特色ある学校づくりに努めます。
- ⑥ 今後、益々高齢者が増え、新しい需要が増えてくることも予想されるので今までの事業を積極的に見直し、尚一層の生涯学習のための教室等公民館活動の充実を図るよう努めます。